

平成30年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
東京オリンピック・パラリンピックレガシー創出事業	オランダのパラリンピアン(車いすバスケット)が来日し、花畑地域でオランダ連携プロジェクト事業「Game Changer～パラスポーツで社会を変える～」を実施しました。 ◆障がい者スポーツフェスティバル 平成31年2月3日(日) ・車いすバスケットデモンストレーション・体験会 ・コーフボール体験 他 【会場】総合スポーツセンター 【参加者数】2,479人 ◆小・中学校交流事業 平成31年2月6日(水) ・リオパラリンピック銅メダリスト講演 ・車いすバスケット競技体験 【会場・参加校】 花保中学校・花畑小学校・花保小学校 花畑中学校・花畑第一小学校・花畑西小学校 【参加者数】495人 ◆特別支援学校交流事業 平成31年2月6日(水) ・障がい者スポーツ体験 ・ボッチャ競技体験 【会場・参加校】 南花畑特別支援学校・花畑北中学校・桜花小学校 【参加者数】168人 ◆障がい者スポーツ普及ワークショップ ・オランダの障がい者スポーツ普及方法講演 ・障がい者のスポーツ相談窓口設置についてワークショップを実施 【会場】総合スポーツセンター 【参加者】総合型地域クラブ、スポーツ推進委員、スポーツ施設職員、障がい者施設職員、区民パラアスリート他 【参加者数】60人 ◆総合型地域クラブ 障がい者対象(参加可能)事業 ・ボッチャ体験、トランポリン、ふれあいトランポリン、手話 【実施団体】SSKクラブ、興本倶楽部、U&Uクラブ、SUK2クラブ 【参加者数】791人
学童保育室運営事業	保護者が就労や疾病等により保育できない家庭の児童(小学生)に対し、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図りました。 ◆施設数 101箇所 114室 ◆定員 4,641人
子育てサロン事業	◆「あだち絵本シアター」(絵本読み語り)を5箇所で計6回実施しました。 【参加者】155組396人 ◆子育てサロンおやたを第2土曜日も利用可能にしました。家族での利用や、父親との利用が多くなりました(令和元年度より毎週土曜に拡大)。 ◆イクメン講座を6箇所で計16回実施し、559人(うち、父親130人)の方たちが参加しました。
ワーク・ライフ・バランスの推進事業	あだち区民まつり「A-Festa2018」で、WLB推進認定企業提供のパネル展示やクイズの実施など啓発活動を行いました。
こども未来創造館事業	大型商業施設と連携した職業体験事業や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた日本文化再発見事業を通じて子どもたちが多くの体験をしました。 また、国際科学映像祭を核としたドームフェスタウィークを開催し、最先端の映像作品やデジタル機器を駆使したアーティストのパフォーマンスなどを紹介しました。 ◆利用者数 1,518,626人 (4月～3月※西新井文化ホール分含む) 子どもたちの成長を支える取り組みを推進するため、区民や区内5大学、区内産業などと連携、協働し、科学、運動、ものづくりの3分野を柱に、施設の特徴を活かした様々な体験事業を企画、提供していきます。

文化・読書・スポーツ活動協 創推進事業	年齢性別の枠を超え、バリアフリーに楽しむことができる「おはじきサッカー」を新田地域を中心に実施しました。 ◆新田学園の授業の一環として、小学生3年生から6年生までに体験会を実施しました。 (参加者 855人) ◆A-Festaでの体験ブース参加者 311人 総合型地域クラブ、スポーツ施設及び区における連携した事業展開により、区民の方に対して、運動やレクリエーションの楽しさを伝えと共、東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の機運醸成を目的として、様々なイベントを開催しました。 ◆総合型地域クラブ [地域コミュニティ事業] KITクラブ21他6クラブにて実施 総事業数 9事業 総参加者数 1,769人 [オリパラ機運醸成事業] ASCC他6クラブにて実施 総事業数 7事業 総参加者数 1,197人 ◆あだちスポーツチャレンジ 開催期間 平成30年10月～平成31年3月 会場 スイムスポーツセンター他8施設 参加者 643人(計11事業) ◆スポーツカーニバル他 開催期間 平成30年10月～平成31年2月 会場 総合スポーツセンター他 参加者 19,830人(計7事業)
ひとり親家庭総合支援事業 【ひとり親家庭交流事業(サ ロン豆の木)】	ひとり親家庭の皆さん同士が、仕事、生活、子育て等の悩みや相談、情報交換をする場です。定期的に開催しており、毎回様々なイベントや講座を行いました。 ◆開催期間 平成30年10月～平成31年3月 (月3回) 第1土曜日(千住地域) 第2・4土曜日(梅田地域) ◆実施回数 16回 ◆参加世帯数 延べ163組361人
あだちスマイルママ&エン ジェルプロジェクト(ASMA P)の推進事業	妊娠期には妊娠届出時アンケートから支援の必要な妊婦を把握し、保健師等が訪問・電話等により支援を実施しました。また、出産後には赤ちゃん訪問、3～4か月児健診を実施することにより、切れ目のない支援を行いました。 ◆特に指導・支援が必要と判断した妊婦に対し、保健師が訪問した実人数 205人 ◆こんにちは赤ちゃん訪問延人数 2,421人
ユニバーサルデザイン推進 事業【評価対象外】	「足立区ユニバーサルデザイン推進計画」に基づき、平成29年度に実施した個別施策について自己評価を行いました。 また、今年度も各担当部署で上記計画の年度別計画に基づき個別施策を実施しました。
教育政策管理事務 【学校ホームページ運用支 援】	学校の情報発信力の向上および教員の業務負担軽減を図るために、支援員を派遣し、学校ホームページの運用を支援しました。 ◆実施校 全104校 ◆支援回数 原則1校月1回
教育政策管理事務 【小学校図書館支援委託】	民間事業者の専門的なノウハウを活用し、学校図書館の環境整備、読書活動の推進など、学校図書館の活用充実に向けた支援をしました。 ◆実施校 小学校全69校 ◆支援回数 週1回 6時間/1回
教育政策管理事務 【中学校図書館支援員の配 置】	中学校全35校の図書館に学校図書館支援員を配置し(各校1人)、図書の整理や新書情報の発信、調べ学習のサポートなどを行い、生徒たちの学習や読書活動の充実に向けた環境を整備しました。 ◆中学校 図書館支援員 35人 (平成31年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【英語チャレンジ講座】	「英語大好き」な中学生を育成するために、中1前期に英語への苦手意識が芽生え始めた生徒を対象に、民間教育事業者の日本人・外国人による補習を行いました。 ◆参加登録者 431人 ◆各校日本人レッスン6回、外国人レッスン2回実施(50分×2コマ=100分/1回) ◆実施校数 中学校全35校

学力向上対策推進事業 【数学チャレンジ講座】	該当学年に習得すべき基礎的・基本的な学力を確実に身に付けさせ、進学時の不安の解消、つまずきの深化防止、学力定着と学習意欲の向上を図ることを目的とし、中1、中2の数学の基礎的な学習の定着に課題が見え始めた生徒を対象に、民間教育事業者による補習を行いました。 ◆参加登録者 1,066人 ◆各校 全5回(100分/1回) ◆実施校数 中学校全35校
学力向上対策推進事業 【英語教材作成支援ツール】	生徒の英語への抵抗感をなくし、英語力をアップさせるため、NHK「基礎英語」「ラジオ英会話」で使用された対話文や音声を利用して教材を作成するツールを導入し、活用しました。 ◆実施校数 中学校全35校
学力向上対策推進事業 【英語マスター講座】	文法・語彙力の向上と英語活用力を身に付けた「英語大好き」な中学生を育成するため、オンライン英会話を活用した委託事業を実施しました。 また、事業終了後に力試しを目的として福島県のブリティッシュヒルズで2泊3日の国内プチ留学体験を実施しました。 ◆講座参加生徒数 85人 各曜日(月・水・金)21回実施 ◆プチ留学参加生徒数 65人
学力向上対策推進事業 【大学連携事業】	児童・生徒・教員の英語力向上および教員の指導力向上に向け、明海大学との協定に基づく連携事業を展開しました。 ◆大学教授・准教授による小・中学校教員指導訪問(14回) ◆大学教授・准教授による小学校教員英語指導力向上リーダー研修(1回) ◆大学教授による小学校外国語活動授業観察(14回) ◆中学生と留学生の交流学習事業の実施(江北桜中、東島根中) ◆明海大学あけみ英語村訪問(千寿第八小) ◆母国語が日本語ではない親子向けの日本語講座2回
学力向上対策推進事業 【大学連携事業】	区民の英語力向上のため連携協定を結んでいる明海大学のネイティブ講師と日本人講師により、大人向け初級英会話講座を開催しました。 ◆参加者 16歳以上の区民の方40人(抽選) ◆全5回
学力向上対策推進事業 【大学連携事業】	区民の英語力向上のため連携協定を結んでいる明海大学のネイティブ講師と日本人講師により、2020オリンピック・パラリンピックおもてなし語学(英語)ボランティア講座の修了生向けにブラッシュアップ講座を開催しました。 ◆参加者 おもてなし語学(英語)ボランティア講座修了生の区民の方40人(抽選) ◆全5回
学力向上対策推進事業 【英語学力4技能調査モデル実施】	新学習指導要領に対応したスピーキングテストを取り入れた英語学力調査を、モデル事業として実施しました。 ◆実施校 区内中学校7校 ◆受検者数 中学2年生488人
学力向上対策推進事業 【小中連携事業】	小学校から中学校への円滑な移行と児童・生徒の学力定着のため各連携校が交流活動や授業研究などに取り組み、全小中学校(小69校、中35校)で実施しました。 ◆全連携校グループで平均3回程度実施
学力向上対策推進事業 【足立はばたき塾】	成績上位で学習意欲も高いが、経済的理由等により、学習塾などでの学習機会の少ない中学3年生を対象に、民間学習事業者を活用した「足立はばたき塾」を実施しました。 ◆参加登録者 84人 ◆定期講座 19回(土曜日実施) ◆集中講座 5日間(冬季休業期間)
学力向上対策推進事業 【教科指導専門員配置】	児童・生徒の基礎学力定着には教員の指導力向上が不可欠であるため、教科指導専門員が巡回指導を行い、教員の授業改善・内容充実への指導・助言を行いました。 ◆教科指導専門員 小学校44人 中学校38人 (平成31年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【そだち指導員配置】	特定科目の学習理解につまずきがある児童に対し、そだち指導員が別教室において、個別学習指導を行い、つまずきの早期解消を図りました。 ◆小学校 そだち指導員 78人 (平成31年3月31日現在)

学校の指導事務 【生活指導員配置】	適切な学習環境の確保・向上を図るため、生活指導員を全中学校を対象に配置し、生徒の生活面を支援しました。 ◆中学校生活指導員 31校33人 (平成31年3月31日現在)
教職員の研修事務 【多層指導モデル】	特殊音節(のびる音・つまる音・ねじれる音)のつまずきを早い段階で把握し、適切な指導を行うMIM(多層指導モデル)に全小学校で取り組むとともに、教員を対象にMIM研修会を2回実施しました。 ◆参加者延べ134人 (10月64人、12月70人)
学校の指導事務 (副校長補佐)	各学校における副校長の業務負担を軽減するため、副校長補佐を学校に配置しています。都のモデル事業として実施しました。 ◆実施校 2校2人
学校の指導事務(弁護士委託費用)	主に学校で発生した事故等の対応のため、弁護士委任契約を締結し、示談交渉・調停・訴訟対応等を行いました。 ◆対応件数 3件
幼児教育振興事業	◆幼児教育推進研修 教育・保育の質の向上のため、幼稚園教諭・保育士を対象とした研修を実施しました。 実施回数 50回 参加者 1,954人 ◆幼保小連携活動 職員間の相互理解を深めると共に、子どもたちがスムーズに小学校へ就学できるよう、ブロック会議、職員交流、子ども同士の交流、体験給食などに取り組みました。 ◆家庭への啓発活動 家庭での子育てのポイントを掲載したリーフレット(足立っ子すくすくガイドリーフレット)を各家庭に配付しました。
放課後子ども教室推進事業	地域の方々の協力により、小学校施設(校庭や教室など)を活用し、児童の放課後の安全安心な居場所を提供しました。 ◆実施校 小学校69校 ◆実施延日数 6,171日 ◆実施延人数 373,529人
区立小学校の改築事業	区立小・中学校の施設更新計画に基づき、千寿小学校の施設更新を行いました。
区立中学校の改築事業	適正規模・適正配置のガイドラインに基づき、江北桜中学校の施設更新を行いました。

小・中学校給食業務運営事業 【おいしい給食の推進】	おいしい給食事業PRとして、あだち区民まつり「A-Festa2018」に出展し、揚げパン販売や給食で使用するパンの展示などを実施しました。 ◆実施日 平成30年10月6日(土) ◆揚げパン販売数 1,750個(チラシ配布枚数531枚) 区内小中学生を対象に給食メニューコンクールを実施し、上位入賞者各10組を表彰しました。また、受賞作品の中から小中学生それぞれ1作品を全小中学校の給食として提供しました。 ◆応募総数 7,072点 ◆表彰式 平成30年10月26日(金) オリパラ教育の一環として、子どもたちに東京オリンピック・パラリンピックへの期待感を高め、そして世界の料理を学ぶことを目的に小中学校で一斉に「オリンピック(オランダ)給食」を実施しました。 ◆実施日 平成30年12月10日(月)から平成30年12月14日(金)のいずれか1日 学校給食における新たな献立の検討を促進することで、学校栄養士のスキルアップを目的に「あだちおいしい給食グランプリ2018」を実施しました。 ◆テーマ 第二のエビクリームライスを考案しよう！新たな足立区の学校給食人気メニュー ◆参加者 小中学校栄養士104人 ◆試食審査会 平成30年12月7日(金) 選考会で選ばれた上位3作品を試食審査 児童・生徒の食に対する意識や食べる意欲の向上を図るため、小中学校全校で給食時間の延長や食育に取り組む「もりもり給食ウィーク」を実施しました。 ◆実施日 平成31年1月21日(月)～25日(金)
自然教室事業	小学5・6年生と中学1年生を対象に、自然や地域文化に親しみ体験をする、2泊3日の自然教室を実施しました。 ◆鋸南自然教室(小学5年生) 40校実施 ◆日光自然教室(小学6年生) 19校実施 ◆魚沼自然教室(中学1年生) 3校実施
育英資金事業	育英資金貸付の秋期募集を行い、貸付利用者を決定しました。 ◆応募人数 高校生9人 大学生等28人 ◆採用人数 高校生9人 大学生等27人 国の教育ローン(50万円以上)を利用して、入学金等を支払った方を対象に大学等入学準備金支援助成金を支給しました。 ◆支給件数 4件
家庭教育推進事務	「早寝・早起き・朝ごはん」を推進するとともに、保育園、幼稚園等の保護者の子育て学習、交流等の仲間づくり活動の支援や、毎月の家族ふれあいの日の取り組み、子育てアドバイザー連絡会の活動を支援することで、家庭教育の充実を図りました。 ◆「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダー配布(年間) 141園(区立保育園・こども園、私立保育園、私立幼稚園・こども園、認証保育所) ◆子育て仲間づくり活動(年間) 参加団体数 46団体 参加者数 18,431人 ◆家族ふれあいの日 年間利用者数 延べ128,424人
体験学習推進事業	区内大学と連携し、未就学児・小・中学生と大学生との交流や学習意欲向上を図る体験活動を実施しました。 <帝京科学大学連携> ◆ふれあい動物教室(小) 8校 869人 ◆ふれあい動物教室(クリスマス・ヴィレッジ) 1回 30人 ◆大学遠足(ひとり親) 1回 4組 ◆のびのびブレイディ(未) 1回 410人 ◆体験！一日大学生(中) 1回 125人 <東京藝術大学連携> ◆音楽教育支援活動 32回 7,476人 <伝統文化関連> ◆あだち子ども百人一首大会 1回 全小・中学校 103校 444人 ◆あだち子ども将棋大会(小) 1回 173人

保育士確保・定着対策事業	◆保育士等住居借上げ支援事業 保育事業者が保育士等の職員用宿舎として区内に住居を借上げた場合に借上げに要した費用の一部を補助しました。(424人) ◆保育士奨学金返済支援事業補助金 奨学金を利用して保育士資格を取得し、区内の保育施設等に勤務する常勤保育士を対象に、奨学金の返済にかかる費用の一部(補助限度額10万円/年度)を補助しました。(138人)
私立保育園施設整備助成事業	◆認可保育園の11園新規開設に伴い、内装工事費等に係る整備費用を助成しました。その結果、790人分の定員増を実現しました。 ◆太陽保育園及び栗原つくし保育園の建替えに伴い建設費用等の助成を行いました。その結果、保育環境が向上するとともに24人分の定員増を実現しました。
認証保育所運営経費助成事業(保育所等賃借料補助事業)	認証保育所を運営するにあたり、運営費の賃借料補助加算では賅えない差額について、補助を実施しました。 ◆3施設 延べ952人利用 補助金の支払い13,192千円
企業主導型保育事業	待機児童解消に向けて企業主導型保育に地域枠定員設定を推進するとともに、保育の質の向上を図るため、条件を満たす事業に対して補助を実施しました。 ◆8施設 延べ607人利用 補助金の支払い12,502千円
発達障がい児支援事業	◆身近な場所での相談窓口 早期発見早期支援の視点から身近な相談場所を設置し 保護者の不安軽減を図りました。 出張相談(保健センター)での相談件数 50人 ◆特性に応じた支援の充実 これまでのげんきでの相談に加え、保健センターでの心理相談や 保育所等での発達相談を実施し具体的ななかかわり方を伝え、保護者や保育者を支援しました。 保健センター支援人数 延べ575人 保育所等支援人数 延べ730人
教育相談事業 【不登校対策支援事業】	各学校における不登校児童・生徒への取り組みを支援するため、登校サポーターを派遣し、家庭へのお迎えや学校での別室登校の対応を行いました。 ◆登校サポーター 延べ50人 ◆対象児童・生徒 123人 ◆派遣経費 延べ3,288時間/3,387千円
養育困難改善事業	要保護児童の早期発見・支援のネットワーク会議や講座を実施しました。 ◆要保護児童対策地域協議会(地区連絡会議) 延べ380人参加 ◆子育て交流講座(完璧な親なんていない) 23人参加 ◆怒鳴らない子育て講座 104人参加